

日本の女性に伝えたいこと：自信を持って、目標を高く

一年たった日本の生活で気付いたのは、日本とインドの女性の目標の違いです。そこで今日は次の二つの点についてお話ししたいと思います。

1. インドと日本の女性の違い。
2. その違いの理由。

インドと日本の女性の違い

まずは、日本では子供が生まれてから仕事をやめる女性が多いです。一方、デリーの女性にとって仕事と家庭を両立して支えていくのは当然なことです。例えば私の父は転勤でいつも家にいなかったで、母は一人で仕事と家族の両方を支えていました。1990年代の首都デリーの平均的な家庭の母にとってはそんな生き方は当たり前だったと思います。

つぎ、近年^{きんねん}インドでは女性の社会的な役割や地位が高くなりつつあります。インドの前大統領も女性だったし、現在^{しゅうぎいんぎちやう}政党の党首と衆議員議長も女性です。女性が官僚になることも珍しいことではありません。しかしながら、日本の女性はそういう地位に付くのは珍しいです。

日本の若者と話すと、短期間留学以外はあまり冒険したくないということが分かります。一方、デリーの若者を見ると、将来国ために何かしたいという考えが強いです。一例として、私の大学では女性たちは学生自治会に参加して社会の福祉のためにいろいろな活躍をしました。

その違いの理由

まずの理由は、若者の考え方についてです。日本は発展した国で、物質的に豊かな国ですから、今の若者は現状に満足しています。あまり冒険しなくて自分の人生を支えていけばいいのではないかという考えになるかもしれません。

今月始め日本で開かれたアイエムエフの年次総会のアイエムエフワーキングレポートの中で、日本の経済発展のために女性がもっともっと働けるようにすべきであるという提言がありました。これは大変重要な示唆だと思います。

まとめとして、日本の女性は決して才能が低いわけではありません。日本の女性がか弱いイメージをふっしょくして将来の子供たちに新しいロールモデルになって欲しいです。ですから今日本の女性に伝えたいこと自信を持って、目標を高くしていただきたいということです。